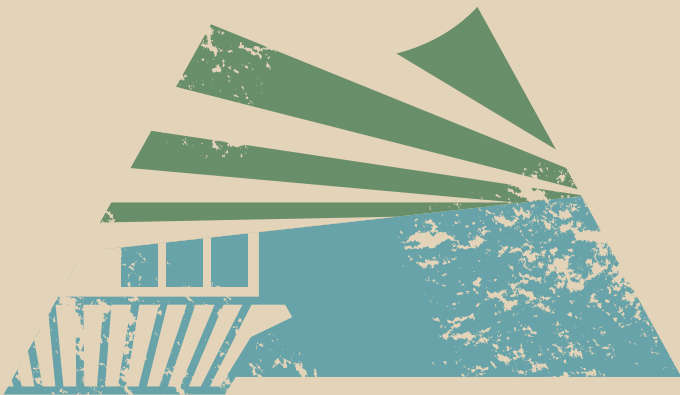




Nozaki Foodscapes Trail

野崎町

長崎県佐世保市

Access to Sasebo

佐世保へのアクセス

空の交通 [JAL・ANA・SKY・APJ]

東京	長崎空港	約95分	18往復/日
名古屋	長崎空港	約75分	2往復/日
大阪	長崎空港	約65分	7往復/日
神戸	長崎空港	約60分	4往復/日
沖縄	長崎空港	約95分	1往復/日

海の交通

長崎空港(オーシャンライン)	ハウステンボス	約 50分	5便/日
佐世保(九州商船)高速	小値賀(九州商船)	宇久平	約110分 2便/日
佐世保(九州商船)フェリー	小値賀(九州商船)	宇久平	約200分 2便/日
相浦港(黒島旅客船)フェリー	高島(黒島旅客船)フェリー	黒島	約 50分 3便/日

陸の交通

福岡	車(高速)	佐世保みなとI.C.	約105分
	バス(高速)	佐世保駅前(西肥バスセンター)	約120分 40往復/日
	JR(特急みどり)	佐世保駅	約110分 16往復/日
長崎	車(高速)	佐世保みなとI.C.	約 60分
	バス(高速)	佐世保駅前(西肥バスセンター)	約 90分 26往復/日
	JR(快速シーサイドライナー)	佐世保駅	約100分 13往復/日
長崎空港	バス	佐世保駅前(西肥バスセンター)	約 90分 16往復/日
	乗合ジャンボタクシー	佐世保駅みなと口	約 55分 約10往復/日

発行/(公財)佐世保観光コンベンション協会、「海風の国」佐世保・小値賀観光圏事業
協力/野崎町内会、俵ヶ浦半島開発協議会、九州大学景観研究室
問い合わせ/佐世保観光情報センター 〒857-0863 長崎県佐世保市三浦町21-1 JR佐世保駅構内
TEL:0956-22-6630 <http://www.sasebo99.com>

平成28年3月製作

佐世保港と九十九島、ふたつの海を望む俵ヶ浦半島 港まち佐世保のルーツがここに凝縮



俵ヶ浦半島

俵ヶ浦半島の西岸には、西海国立公園「九十九島」の島々を抱くように、複雑に入り組んだ海岸線が連なる。季節ごとに、陽ざしによって刻々とその表情を変え、まさに風光明媚。波穏やかな海は無数の生き物の棲家で、豊かな海の恵みをもたらし、なかでも濃厚で癖のない味わいの「九十九島かき」は絶品だ。東に目を向けると、懐深い天然の良港「佐世保港」だ。明治22年に旧日本海軍の軍港として開港し、現在は米海軍基地と海上自衛隊の施設が点在する。中世に住みついた人々

の、脈々と続く穏やかな暮らしの場には、神社や御観音さまが大切に守られ、森の中には明治期に築かれた旧日本陸軍の砲台や観測所などの近代化遺産が眠る。九十九島の大自然と、海の歴史に彩られた半島を歩くと、凝縮した日本の歴史物語が紐解かれていく。いくつものビューポイントと、懐かしい暮らしの風景、そして時代を物語る遺産の数々、ゆったりと歩きながら、佐世保のルーツに出会うトレイルへ。



俵ヶ浦半島



俵ヶ浦半島ロングトレイル

時間がたっぷりあるなら、九十九島パールシーリゾートからのんびり歩く片道約15kmのロングトレイルをおすすめしたい。表情豊かな九十九島の絶景が心も体も癒し、立寄ポイントでは長い歴史の中で育まれた浦々の暮らしに出会うことができる。歩かないと気づかない、心豊かな佐世保の旅がここにある。



海の幸、山の幸、郷土料理…
食のルーツ、風景を巡る旅はまさに“ごちそう”。

COURSE
4

野崎町 ごちそうトレイル

俵ヶ浦半島の中央に位置する野崎町。

波止場、海水浴場、だけん山、ほいさ山、雨の浦川…多様な自然に恵まれ、遊ぶ場所には事欠かなかった。

かつてのように子供達が遊ぶことは少なくなったけど、自然と共存する暮らしはいまでも続いている。

特に、新鮮な海産物や赤土が育む農作物、郷土料理の野崎寿司、かから餅など、豊富な食材・食文化がいまも根付き、野崎特有の“食の風景”を支えているのだ。海幸山幸・野崎のごちそうを巡る旅へいざ！

VIEW POINT



VIEW POINT 1

花の森公園のデッキから望む九十九島の風景。手前には亀の子島の栈橋も見える。



VIEW POINT 2

東岸のバス通りまで降りると佐世保湾の風景が広がる。遠く対岸には針尾無線塔が見える。



VIEW POINT 3

佐世保湾沿いの道は連続して海の風景を楽しめ、港に入出航する船に出会えることも。



VIEW POINT 4

視点によって異なる海の表情。野崎の地形をなぞりながら歩いてみるのも面白い。



VIEW POINT 5

開放的な佐世保湾の風景。針尾無線塔が遠くに見えるのが野崎の特徴である。



VIEW POINT 6

俵ヶ浦半島特産のキャベツ畑に古民家、海、針尾無線塔。野崎を代表する食の風景だ。

TOPIC

野崎寿司

野崎町に代々伝わる郷土料理。旬の魚を使った具材を酢飯に包んで、手際よく扇面の型で抜き、錦糸卵と山椒の葉、薄紅色のでんぶを飾って仕上げる。盆や正月、祭りなど、祝い事には欠かせない野崎のごちそうだ。酢飯の濃厚な甘酸っぱさと具材の旨みがバランスよく、ついもうひとつ、と手が伸びる。



トレイルの楽しみ方 5 か条

1. 車は駐車場へ！

トレイルルートは一部を除いて離合の難しい狭路です。車は「花の森公園」または「野崎港」の駐車場に停めてお楽しみください。余裕があれば、九十九島パールシーリゾートからのロングトレイルや、市街地からの路線バスを使ってごゆっくりとお楽しみください。

3. お弁当をもって

町内には飲食店はありませんが、お弁当をお持ちください。お気に入りの絶景、のんびりした時間の中で食べるお弁当は、何よりの「ごちそう」です。

2. 地域の暮らしや信仰を大切に

集落は農耕や漁業を営む地域の人たちの暮らし、神社や神様・お地蔵様は信仰を伝える大切な場です。ルート外への立ち入りや大声、ゴミのポイ捨て、落書きはご遠慮ください。マナーを守って楽しみましょう。

4. 安全に楽しみましょう

体調を整え、時間のゆとりをもって楽しみましょう。飲料と行動食は必ず準備し、天候対策、トレイルに適した服装や履物で無理のないようお楽しみください。

5. お手洗いのこと

トレイルコースにはお手洗いがありません。花の森公園や野崎港のお手洗いをご利用ください。

Access to Nozaki

野崎町へのアクセス

車



西九州自動車道「佐世保中央I.C.」から約20分

バス



JR佐世保駅から市営バス俵ヶ浦行で約40分、「野崎」下車。

※路線バスは本数が限られますのでご注意ください。佐世保市営バスのご案内は、ホームページ「九州のバス時刻表」で検索、または佐世保観光情報センター（TEL.0956-22-6630）へお問い合わせください。

花の森公園 START&GOAL

立寄ポイント A



花の森公園 P 花の森公園 野崎町トレイルを楽しむならここを拠点に。自然の地形と森を生かした広い敷地は、九十九島の景観と四季折々の花を眺めながら散策が楽しめる。九十九島を望むデッキから緩やかに下る坂道は、春には桜のトンネルに。駐車場やお手洗いもあり、ピクニックやお弁当スポットとしてもおすすめ。

馬に注意！



石積みの段々畑の風景。いまでもお役者だ。

立寄ポイント B



「野崎」バス停

バスで訪れるときはここを拠点に。佐世保湾を望む高台にレトロな佇まい。まるで映画のワンシーンを見るようだ。

立寄ポイント C



恵比須様

野崎港のそばに恵比須様の祠がある。現在の港ができる以前は、祠の前の船溜まりが港だったのだろう。今は離島航路や艦船が行き来する佐世保湾は豊かな漁場で、新鮮な海の幸が地域の食卓を飾ってきた。



立寄ポイント G



長い時を経てきた野崎町の食の風景だ。少し足を止めて、農作業をする地元の人と言葉を交わすのも楽しい。

立寄ポイント D



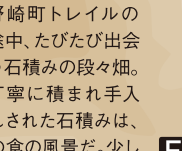
「野崎公会堂」バス停

立寄ポイント F



六道の辻 六道の辻はその名前の通り、元は各集落をつなぐ6方向の里道が交わる交差点だ。今は通る人も少なくなり、庵の浦町と野崎町をつなぐのみ。鬱蒼とした森の中、小さな祠に祀られた御弘法さまが、地域の人々の往来を見守ってきたのだろう。庵の浦町トレイルでも立寄りポイントとなるパワースポットだ。

立寄ポイント E



段々畑 野崎町トレイルの途中、たびたび出会う石積みの段々畑。丁寧に積み重ねられた石積みは、



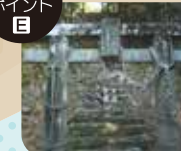
俵ヶ浦半島に産出する名石・六方石。



野崎港

釣りの穴場スポットらしく、堤防に釣り人たちが並んで竿を伸ばす姿が見られる。眼前には遮るものなく佐世保湾が広がり、長閑な海辺の風景と潮風を感じながら、ゆったりお弁当を広げるのにもおすすめのスポット。

立寄ポイント E



金毘羅神社

野崎集落を離れ、岬に向かう森を抜けると、高台にひっそりと金毘羅神社が祀られている。地元の人に聞くと、かつては佐世保湾を望む絶景スポットだったそうだ。

—— トレイル基本ルート —— バスルート



高さ&距離 MAP

